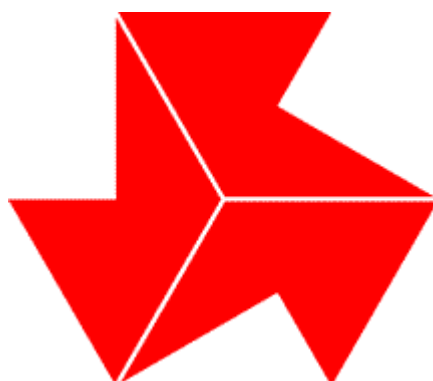


# 令和8年度 第73回東海高等学校総合体育大会ホッケー競技

令和8年6月20日(土)・21日(日)

会場 名古屋市庄内緑地公園陸上競技場



主 催	東海高等学校体育連盟 三重・岐阜・静岡・愛知 各県教育委員会 三重・岐阜・静岡・愛知 各県ホッケー協会
後 援	名古屋市教育委員会
主 管	愛知県高等学校体育連盟 愛知ホッケー協会

第73回東海高等学校総合体育大会

# ホッケー競技

期 日 令和8年6月20日(土)・21日(日)  
会 場 名古屋市庄内緑地公園陸上競技場

## 1, 大会役員

愛知県高体連ホッケー専門部長		平子 奈穂子 (名古屋商業高等学校校長)
東海ホッケー協会	会長	横山 浩之 (岐阜県ホッケー協会会長)
愛知ホッケー協会	会長	小川 靖二
静岡県ホッケー協会	会長	田中 健一
三重県ホッケー協会	会長	芳野 正英

## 2, 競技役員

委員長(TD)	辻 幹彦 (愛)				
T O	杉山 龍児 (静)	蔦木 勝 (岐)	大田 勝也 (三)	加藤 知明 (愛)	
ジャッジ	田中 秀典	齋田 莉衣	鈴木 智晴	筒井 伽音	高橋 和志 (愛)
審判長 (UM)	小坂井 悠平 (愛)				
審 判	加藤 和則	三角 楓	石橋 徹也 (静)		
	渡辺 大貴	梶田 賢二 (岐)			
	吉田 哲也	松原 初花 (三)			
	小坂井 悠平	若山 新生 (愛)			

## 3, 運営役員

委員長	岸 竜平 (愛)				
副委員長	長尾 美和 (岐)	勝又 隆光 (静)	節句田 悟 (三)		
総 務	天野 貴彦	川西 宏和			
競技進行	岸 竜平				
式 典	天野 貴彦				
会 場	小坂井 悠平	加藤 知明			
時計得点	川西 宏和	近藤 佑思			
記録報道	岸 竜平				
救 護					
補助員	愛知県高等学校	ホッケー部	部員		

#### 4, 式次第

[開会式] ※ユニフォームで参加して下さい。部旗、旗竿の準備をお願いします。

- (1) 役員・選手整列
- (2) 開式通告
- (3) 主催者挨拶 (愛知県高体連ホッケー専門部長 平子 奈穂子)
- (4) 競技上の注意 (競技委員長(TD) 辻 幹彦)
- (5) 選手宣誓  
名古屋市立向陽高等学校男子ホッケー部 主将 田邊 晃大  
名古屋市立向陽高等学校女子ホッケー部 主将 牧野 玲
- (6) 閉式通告
- (7) 役員・選手退場

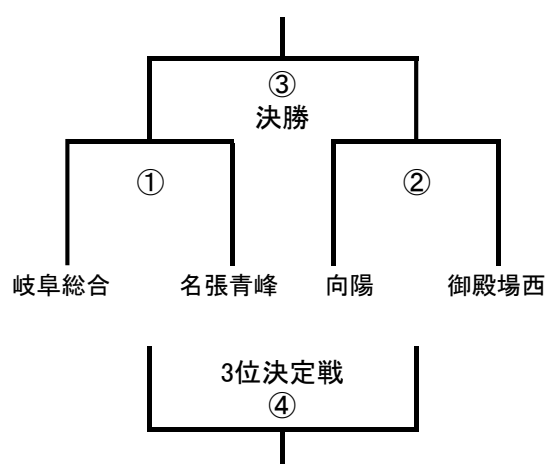
[表彰] ※閉会式は行いません。競技終了後(順位決定次第)ただちに表彰を行います。

- (1) 選手整列
- (2) 表彰 (愛知県高体連ホッケー専門部長 平子 奈穂子)
- (3) 選手退場

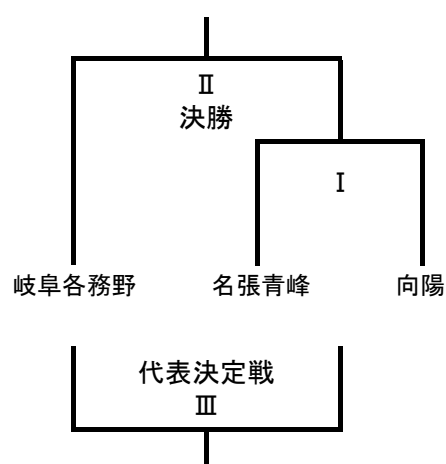
〈注〉雨天や競技の進行具合により、変更・中止することもあります。

#### 5, 組み合わせ

男子の部 (トーナメント方式)



女子の部 (トーナメント方式)



※2位と3位が未対戦の場合は代表決定戦を行う

## 6, 日程

### ○第1日目 6月20日(土)

監督会議 9:00 ~ 9:30

開会式 9:30 ~ 10:00

#### 競 技

男子 第①試合 10:30 ~ 12:00 岐阜総合学園 対 名張青峰

男子 第②試合 12:15 ~ 13:45 向 陽 対 御殿場西

女子 第I試合 14:00 ~ 15:30 向 陽 対 名張青峰

### ○第2日目 6月21日(日)

#### 競 技

女子 決勝戦 9:30 ~ 11:00 岐阜各務野 対 Iの勝者

男子 決勝戦 11:15 ~ 12:45 ①の勝者 対 ②の勝者

男子 3位決定戦 13:00 ~ 14:30 ①の敗者 対 ②の敗者

女子 代表決定戦 14:45 ~ 16:15

※女子は2位と3位が未対戦の場合のみ、代表決定戦を行う。

#### 順位

	男 子		女 子	
第1位	高校	県	高校	県
第2位	高校	県	高校	県
第3位	高校	県	高校	県
第4位	高校	県		

なお、以上の結果により、男子上位3チーム、女子上位2チームは、8月8日～8月12日に滋賀県で開催される全国高等学校総合体育大会への出場権を得られる。

## 7, 競技運営規程

### 競 技 運 営 規 程 (抜粋)

#### 1 大会運営

本大会は、2026年度公益社団法人日本ホッケー協会の<ホッケー競技運営規程>並びに東海高等学校総合体育大会ホッケー競技実施要項により運営される。もしもその解釈等に疑義が生じた場合は、あくまでも<ホッケー競技運営規程>本文にしたがって解決を図るものとする。

#### 2 競技規則

競技規則は、2026年度公益社団法人日本ホッケー協会競技規則による。

#### 3 競技方法及び競技時間

トーナメント方式とする。

試合時間は、15分間の4クォーターと10分間のハーフタイムからなるクォーター制で行う。またクォーター間は2分、時間は「ストップ方式」で行う。

#### 4 試合管理

試合の時間は、テクニカルオフィサー (TO)が管理する。ただし、各クォーター終了間際に与えられたペナルティー・コーナーは、規定の試合時間が終了しても中止されることはなく、それが完了するまで続けられ、完了したときはアンパイアのホイッスルをもって規定時間の終了となる。

#### 5 勝敗の決定方法

試合が、上記試合時間内に勝敗が決しない時は、下記の方法により勝敗を決定する。6に定める方法により、シュートアウト戦 (以下SO戦と称する) を行い勝敗を決定する。

#### 6 SO戦による勝敗の決定方法

①両チームの監督は、攻撃を行う5名と守備を行う1名を競技役員 (TO) に伝える。

ただし、レッドカードによる退場処分を受けている選手を除く。

②両チームの5名の選手が交互に攻防を一巡行い、得点の多い方を勝者とする。なお、途中で勝敗が決したときは打ち切る。(この際選手がプレー不可能になった場合は、退場処分となっている選手以外の公式試合記録に登録されている選手の中から交代できる。)

③最初のSO戦において勝敗が決しない時は、再SO戦をサドンデス方式で行う。最初先攻のチームが後攻となる。(各チームのメンバーは、プレー不可能な者を除き、最初と同じメンバーで行う。ただし、順序は変えてもよい)

④ベンチ入りが認められている者は、ハーフライン近傍のフィールドに入ることができるが、TOの指示に従わなければならない。ただし、レッドカードを提示された者は入れない。

#### 7 競技フィールドへの立ち入り

①試合に直接関与する22名の選手と2名の審判員の他は、たとえ誰であろうとも審判員の許可がない限りフィールド内に立ち入ることはできない。

②試合中、選手に怪我等が起こった場合、手当てをする者の中からの1名と監督の最大2名が、当該審判員の許可を得て、フィールド内に入り手当てを行うことができる。

- ③各チームは、スターティングリストに、手当てをする者2名を、記載しておかなければならない。
- ④飲料水の補給等は、フィールド内で行ってはならない。給水したプレーヤーは交替をすることが認められているサイドの23m地域の間(中央部)のところからのみ、再入場しなければならない。
- ⑤試合が行われていない時であっても、ゲームT.Oの許可を得なければフィールド内に立ち入ることはできない。

## 9 選手の交代

- ①選手の交代は、その試合にエントリーされていれば、随時交代することができる。ただし、ペナルティー・コーナーが与えられている間は、負傷した守備側のゴールキーパーの他は誰も交代することができない。
- ②交代はジャッジ席前のセンターラインから3メートル以内で行う。
- ③ゴールキーパーの交代は、審判員の管理の下で試合時間を一時停止して行う。その際の交代は23m付近でよい。

## 10 その他

- ①試合中審判員に対する誹謗・乱暴なプレー・スポーツマンシップにふさわしくない行為は厳に戒める。(応援にも適用)
- ②出場チームは、試合開始40分前までに監督署名済みのスターティングリストをジャッジ席(記録係)へ提出する。
- ③出場チームが定刻までに参集しないときは、棄権したものとみなし相手の不戦勝とする。
- ④試合開始8分前に、リングパス並びに服装・装具の点検をジャッジ席前で行う。
- ⑤選手は、試合を通じてシャツの裾をきちんと処理(パンツ・スカートの中に入れる)し、ストッキングは、すね当てを覆うようにして膝下まで上げて履くこと。なお、本大会は会場の特性から膝をストッキングで覆ってもかまわない。
- ⑥登録選手は、マウスガードの装着を義務とする。但し、装着ができない場合には別途定める規定に準ずる。
- ⑦各チームの選手は、正規の背番号をつけ大会期間中は変更できない。
- ⑧ベンチは、「6日程 競技」に記載されている左側チームのベンチを、ジャッジ席よりコートを見て左側のベンチを使用する。監督は、ベンチ内に在る全ての言動について全責任を負うものとする。
- ⑨ベンチには、エントリーされた者以外は入ることはできない。当該校の登録完了しているコーチ・手当する人・ベンチアシスタント・校長についてはこの限りではない。
- ⑩選手のシューズについては、スパイクの使用を禁止する。
- ⑪チームの主将は、キャプテンマークをつける。
- ⑫リボン、ハチマキは、競技に支障のない範囲で使用してもよい。
- ⑬負傷・出血したプレイヤーは、直ちに退場し、止血処置、傷の手当て・洗浄が完了するまで再出場することができない。(血の付いた衣服は交換し、用具も洗浄しなければならない。)
- ⑭試合に際し、各チームは必ず2種類のユニフォームを準備し、さらに、番号を貼り付けられるようにした番号なしの予備ユニフォーム2着を用意しておくこと。
- ⑮試合終了後、両チームの監督はジャッジ席で公式記録用紙に署名する。
- ⑯本大会において抗議の申し入れはできない。
- ⑰競技運営に関する疑義が生じた場合は、大会本部が決定する。
- ⑱荒天等の場合、大会本部にて試合の運営について決定する。

- ⑭本規定に定めないものについては、監督会議の席上において取り決める。
- ⑮不測の事態が生じた場合、大会本部の指示に従うものとする。

(memo)